

## 独立行政法人北方領土問題対策協会の業務執行状況

平成 16 年度独立行政法人北方領土問題対策協会年度計画	平成 16 年度上半期業務執行状況
<p>1. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>中期計画の削減目標を達成するため、連絡会議等を活用して効率化を推進する体制を充実するとともに、事務マニュアルの作成、電子媒体の活用による文書のペーパーレス化等を推進する。</p> <p>さらに、業務における経費の効率化を図るため、各種支援事業における節約の呼びかけ、効果が著しく低下した行事等の見直し・廃止、新規事業をおこす際のスクラップ等を励行する。</p> <p>また、組織の業務遂行能力の充実を図るため、職員を各種研修会へ積極的に派遣するなど職員の能力の向上を図る。</p>	<p>1. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>連絡会議の開催</p> <p>事務・事業の効率化を推進する体制を強化するため、毎週月曜日に定期的に事務連絡会議を実施している。</p> <p>事務マニュアルの作成</p> <p>事務の効率化、職員の能力向上、重複事務の排除等に資するためマニュアルの作成を平成 15 年度に引き続き推進している。</p> <p>ペーパーレスの推進</p> <p>従来のペーパーによる文書の管理から電子化された文書の管理への移行を引き続き推進し、その共有化を図るとともに、電子掲示板及び電子メール等の利用による事務処理の効率化を推進した。</p> <p>各種事業の節約・見直しへの呼びかけ</p> <p>協会主催の会議及び県民会議、北連協等が開催する会議等に参加し、事業の節約及び効率的・効果的な事業の推進を呼びかけている。</p> <p>職員の研修への派遣実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服務・懲戒実務研修会 1 名</li> <li>・ 勤務時間・休暇関係実務研修会 1 名</li> <li>・ 給与実務研修会 1 名</li> <li>・ 職員相談員実務研修会 1 名</li> </ul>

2. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 国民世論の啓発に関する事項

北方領土返還要求運動の推進

- (ア) 全国に設置されている北方領土返還要求運動都道府県民会議（以下「県民会議」という。）並びに返還要求運動に取り組む民間団体で組織される北方領土返還要求運動連絡協議会（以下「北連協」という。）及び北連協加盟団体等が実施する次の事業に対する支援を行う。支援事業の合計は年間で100回以上の水準を保つこととする。

- ( ) 北方領土返還要求全国大会  
 （2月7日「北方領土の日」開催場所：東京）

- ( ) 県民会議が開催する県民大会、講演会、研修会等

2. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 国民世論の啓発に関する事項

北方領土返還要求運動の推進

- (ア) 県民会議、北連協等が実施する事業への支援実績  
 県民会議、北連協等が実施する事業に対し、啓発資料・資材の提供、啓発パネル・ビデオの貸与、講師派遣、経費助成等の支援を行った。

〔支援状況〕

	大会	研修会等	キャラバン等	パネル展	北連協事業等	計
件数	6	11	2	8	5	32

- ( ) 北方領土返還要求全国大会（実施予定）  
 [開催月日] 平成17年2月7日（北方領土の日）  
 [開催場所] 九段会館（東京都）  
 [出席者] 内閣総理大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、各政党代表等

- ( ) 県民会議が開催する県民大会、講演会、研修会等  
 [県民大会]

埼玉県、新潟県、富山県、石川県、岐阜県、奈良県

- [研修会・講演会]

宮城県、福島県、茨城県、千葉県、山梨県、三重県、和歌山県、滋賀県、奈良県、大阪府、山口県

<p>( ) 北連協及びその加盟団体等が開催する現地（根室市）集会、研修会等</p>	<p>( ) 北連協及びその加盟団体等が開催する現地（根室市）集会、研修会等</p> <p>[北連協]  (事業名) 北方領土問題講演会（東京都）  (開催月日) 4月16日（金）</p> <p>[日本青年会議所]  (事業名) 第35次北方領土返還要求現地視察大会（根室市）  (開催月日) 7月17日（土）</p> <p>[日本青年団協議会・全国地域婦人団体連絡協議会]  (事業名) 第35回北方領土復帰促進婦人・青年集会（根室市）  (開催月日) 9月11日（土）</p> <p>[日本労働組合総連合会]  (事業名) 北方領土返還要求！平和行動 in 根室（根室市）  (開催月日) 9月25日（土）～26日（日）</p> <p>[その他]  ・ 納沙布岬マラソン大会（根室市）  ・ 北方領土返還号（バス広告 / 北方領土復帰期成同盟渡島支部）</p>
<p>( ) 北方領土返還要求署名活動、街頭啓発、キャラバン、パネル展等の北方領土返還要求にかかわるその他の啓発活動</p>	<p>( ) 北方領土返還要求署名活動、街頭啓発、キャラバン、パネル展等の北方領土返還要求にかかわるその他の啓発活動</p> <p>[キャラバン・署名活動等]  愛媛県、富山県</p> <p>[パネル展]  宮城県、栃木県、東京都、鳥取県、山口県、高知県、愛媛県  鹿児島県</p>

<p>(イ) 県民大会等へ研究者、実務家、元島民等を講師として派遣する事業を実施する。</p> <p>(ウ) 協会、県民会議、都道府県等の連携を緊密にするためのパイプ役として推進委員を配置し、効果的・効率的に事業の実施を図る。</p> <p>(I) 県民会議等事業の今年度の計画、総括・見直し、課題等を協議するため、以下の会議を招集する。 都道府県推進委員全国会議（東京 / 4月）</p>	<p>(イ) 県民大会等へ研究者、実務家、元島民等を講師として派遣する事業を実施した。 〔講師派遣実績〕 14回</p> <p>(ウ) 協会、県民会議、都道府県等の連携を緊密にするためのパイプ役として、都道府県知事から推薦を受け、47都道府県に推進委員を配置した。</p> <p>(I) 県民会議等事業の今年度の計画、総括・見直し、課題等を協議するため、以下の会議を開催した。 〔都道府県推進委員全国会議〕 〔開催月日〕 平成16年4月9日（金） 〔開催場所〕 東条インペリアルパレス「曙の間」 〔政府出席者〕 茂木敏充沖縄及び北方対策担当大臣 宮腰光寛内閣府大臣政務官 渡辺文雄内閣府北方対策本部審議官 松田邦紀外務省欧州局ロシア課長 吉富芳正文部科学省初等中等教育局教育課程課学校教育官 〔出席者〕 都道府県推進委員等90名 〔会議内容〕 ・北方領土問題に関する政府説明 ・平成16年度北対協事業説明 ・ブロック別協議 ・全体協議 ・返還運動の事例報告</p>
---	--

<p>都道府県民会議代表者全国会議（宮城県 / 11月）</p>	<p>〔都道府県民会議代表者全国会議〕（開催予定）</p> <p>〔開催月日〕 平成 16 年 11 月 12 日（金）</p> <p>〔開催場所〕 江陽グランドホテル（宮城県仙台市）</p> <p>〔参加者〕 都道府県民会議代表</p> <p>〔会議内容〕 北方領土問題に関する政府説明（内閣府、外務省） 北対協事業報告 講 演 ブロック別協議 全体協議</p>
<p>ブロック幹事県担当者会議（東京 / 3月）</p>	<p>〔ブロック幹事県担当者会議〕</p> <p>都道府県民会議ブロック幹事県を一堂に会し、課題等協議するための会議を 3 月に開催することを計画したが、本年度は県民会議との連携をより一層強化するため 9 月、3 月に開催することとした。</p> <p>【第 1 回】</p> <p>〔開催月日〕 平成 16 年 9 月 7 日（火）</p> <p>〔開催場所〕 北方領土問題対策協会 会議室</p> <p>〔参加者〕 都道府県民会議幹事県代表等 8 名</p> <p>〔会議内容〕 平成 17 年度概算要求について 択捉島日本建物（2 棟）の保存について</p>
<p>県民会議ブロック会議（6ブロック）</p>	<p>〔県民会議ブロック会議〕</p> <p>上半期中に 6 ブロック内の協力・連携を強化するとともに、課題等を協議するための会議を内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員等の出席を得て、以下のとおり開催した。</p>

	<p>【北海道・東北ブロック】(主管・宮城県民会議)</p> <p>[事業名] 2004 北海道・東北ブロック連絡協議会</p> <p>[開催月日] 平成 16 年 8 月 5 日(木)</p> <p>[開催場所] ホテル松島大観荘(宮城県)</p> <p>[参加者] 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北対協等 26 名</p> <p>[会議内容] 政府説明(内閣府) 北対協事業報告 各県民会議重点事業説明 意見交換(教育者会議、署名運動の推進等)</p> <p>【関東・甲信越ブロック】(主管・千葉県民会議)</p> <p>[事業名] 第 22 回関東甲信越ブロック北方領土関係者会議、第 17 回関東甲信越ブロック北方領土返還要求運動都・県民会議連絡協議会、第 8 回北方領土返還要求事務担当者ブロック会議</p> <p>[開催月日] 平成 16 年 5 月 28 日(金)</p> <p>[開催場所] 幕張プリンスホテル</p> <p>[参加者] 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北対協等 30 名</p> <p>[会議内容] 報告事項 ・北方領土に関する最近の動向について(内閣府) ・北対協事業計画について(北対協) ・第 18 回関東甲信越青少年交流会について(神奈川県民会議) 協議事項</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土問題教育者会議</li> <li>・北方四島交流事業について</li> </ul> <p>【東海・北陸ブロック】(主管・岐阜県民会議)</p> <p>[事業名] 第24回東海・北陸ブロック北方領土関係者会議</p> <p>[開催月日] 平成16年8月4日(水)</p> <p>[開催場所] ホテルグランベール岐山</p> <p>[参加者] 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北対協等23名</p> <p>[会議内容] 政府説明(内閣府) 各県活動報告及び今後の運動の進め方 北方領土問題教育者会議の立ち上げについて</p> <p>【近畿ブロック】(主管・奈良県民会議)</p> <p>[事業名] 平成16年度近畿ブロック北方領土返還要求運動連絡協議会</p> <p>[開催月日] 平成16年5月11日(火)</p> <p>[開催場所] 奈良県文化会館</p> <p>[参加者] 内閣府、各県民会議、各県主管課、推進委員、北対協等17名</p> <p>[会議内容] 平成15年度事業報告 " 決算報告 平成16年度事業計画 " 予算計画 意見交換</p> <p>【中国・四国ブロック】(主管・岡山県民会議)</p> <p>[事業名] 平成16年度中国・四国ブロック北方領土返還要求事務</p>
--	---

<p style="text-align: center;">北連協代表者会議</p> <p>(オ) 広く国民に北方領土問題及び返還要求運動について、理解と認識を深めるため以下の事業を実施する。</p>	<p style="text-align: center;">担当者会議</p> <p>[開催月日] 平成 16 年 9 月 25 日(土)</p> <p>[開催場所] 三光荘</p> <p>[参加者] 各県民会議、各県主管課、推進委員、北対協等 34 名</p> <p>[会議内容] 講演「教育の視点から見た北方領土返還運動について」 ブロック幹事県担当者会議報告 各県活動報告 北方領土問題教育者会議設立と活動状況について</p> <p>【九州・沖縄ブロック】(主管・熊本県民会議)</p> <p>[事業名] 北方領土返還要求九州・沖縄ブロック会議</p> <p>[開催月日] 平成 16 年 7 月 31 日(土)</p> <p>[開催場所] ホテル日航熊本</p> <p>[参加者] 内閣府、各県民会議、各県主管課、熊本県内教育者会議メンバー、推進委員、北対協等 43 名</p> <p>[会議内容] 講 話 ・政府の運動方針 ・平成 16 年事業の重点(北対協) 北方四島交流受入事業報告 各県活動報告 北方領土問題教育者会議</p> <p>〔北連協代表者会議〕(下半期実施予定)</p> <p>(オ) 広く国民に北方領土問題及び返還要求運動について、理解と認識を深めるため以下の事業を実施した。</p>
---	---



( ) パンフレット等の啓発用資料・資材の作成等

(カ) 根室地域の以下の啓発施設にある展示資料等を充実させるとともに、意見箱の意見の集約を行い来館者へのサービスの向上を図る。

北方館（根室市）

別海北方展望塔（別海町）

羅臼国後展望塔（羅臼町）

青少年や教育関係者に対する啓発の実施

(ア) 返還要求運動の「後継者対策」を目的として、全国の青少年、教育関係者等を返還要求運動原点の地・根室市に集め北方領土研修を通じて、本問題への理解と関心を深めてもらうため、以

・掲出期間 8月北方領土返還運動全国強調  
(7月30日～8月31日)

・掲出内容 語り継ごう たゆまぬ努力で 四島(しま)返還  
8月は北方領土返還運動全国強調月間中です

【予 定】

・2月北方領土返還運動全国強調中に同場所にて掲出予定

( ) パンフレット等の啓発用資料・資材の作成等

2月北方領土返還運動全国強調中の県民会議事業に備え作成予定

(カ) 根室地域の以下の啓発施設にある展示資料等を充実させるとともに、来館者へのサービスの向上のために設置した意見箱の意見の集約を行い施設の充実を図ることとしている。

〔北方館／根室市〕

・有意義だった 98%（4月～7月の間）

〔別海北方展望塔／別海町〕

・有意義だった 84%（4月～6月の間）

〔羅臼国後展望塔／羅臼町〕

・有意義だった 93%（4月～9月の間）

青少年や教育関係者に対する啓発の実施

(ア) 返還要求運動の「後継者対策」を目的として、全国の青少年、教育関係者等を返還要求運動原点の地・根室市に集め北方領土研修を通じて、本問題への理解と関心を深めてもらうため、以下の

下の事業を開催する。

その際、参加者から報告書等を提出させるとともに、アンケート調査を実施し、80%以上の参加者から有意義だったとの結果を得る。

北方領土問題青少年・教育指導者研修会（対象：中学生、高校生及び中学校社会科担当教諭等 / 8月）

事業を開催した。

〔北方領土問題青少年・教育指導者研修会〕

〔開催月日〕 平成 16 年 8 月 12 日（木）～13 日（金）

〔開催場所〕 根室市立歯舞中学校、北方四島交流センター

〔参加者〕 全国の教育指導者等 79 名、中学生 74 名

〔事業内容〕

・北方領土問題教育指導者現地研修会プログラム

（1 日目）

基調講演 「根室支庁における北方領土教育の取組みについて」

山崎 隆 根室管内北方領土学習研究会会長

（歯舞中学校校長）

報 告 「教育指導者研修会に参加して」

岡部 隆 教諭（京都市立加茂川中学校）

堀田雄二 教諭（唐津市立第一中学校）

弁論発表 地元中高生

元島民の体験談 鈴木咲子氏（択捉島出身）

北方領土模擬授業の実践（3 グループ）

洋上視察

（2 日目）

北方領土壁新聞づくり視察

全体・ブロック別協議

北方四島交流センター視察

<p>北方領土ゼミナール（対象：大学生 / 9月）</p>	<p>[アンケート結果]          ・有意義だった 100%</p> <p>・北方領土問題青少年現地研修会プログラム          （1日目）          地元中高生との交流          弁論発表 地元中高生          元島民の体験談 鈴木咲子氏（択捉島出身）          北方領土模擬授業の実践（3グループ）          北方領土現地視察（北方館 / 納沙布岬）</p> <p>（2日目）          北方領土壁新聞づくり          北方四島交流センター視察</p> <p>[アンケート結果]          ・有意義だった 100%</p> <p>〔北方領土ゼミナール〕          [開催月日] 平成16年9月11日（土）～12日（日）          [開催場所] 北方四島交流センター、千島会館等          [参加者] 全国の大学生等50名          [事業内容]（1日目）          ・基調講演 渡邊光一教授（駒沢女子大学）          ・地元中高生弁論発表          ・元島民の体験談 得能宏氏（色丹島出身）          ・北方領土ゼミ（第1回 / 講義）</p>
-------------------------------	---

<p>(イ) 学校教育における北方領土教育の充実・強化を図ることを目的として、県民会議の主導による「北方領土問題教育者会議」の設立を推進する。</p> <p>本年度新たに10県の設立を目標とするとともに、既に設立された会議の活動を支援する。</p> <p>(ウ) 各県の教育者会議間の連携を図るとともに、教材等の成果物の共有を進める等のため「教育者会議全国連絡協議会（仮称）」の設置を検討する。</p>	<p>講師 佐瀬昌盛所長(拓殖大学海外事情研究所)</p> <p>〃 川上恭一郎課長補佐(外務省ロシア課)</p> <p>・自主研究レポート作成</p> <p>(2日目)</p> <p>・北方領土ゼミ(第2回/討議)</p> <p>コメンテーター 佐瀬昌盛所長</p> <p>〃 川上恭一郎課長補佐</p> <p>コーディネーター 渡邊光一教授</p> <p>・北方領土現地視察</p> <p>[アンケート結果]</p> <p>・有意義だった 100%</p> <p>(イ) 学校教育における北方領土教育の充実・強化を図ることを目的とした県民会議の主導による「北方領土問題教育者会議」の設立に向け、本年度新たに設立希望県民会議と連携をとり、設立に向け関係団体及び教育関係者と準備中。</p> <p>なお、15年度設立した教育者会議では、そのメンバーが北方領土問題についての授業や県民会議実施する青少年を対象とした事業に参加するとともに、ブロック会議等の場において、本年度設立希望県民会議との意見交換を行っている。</p> <p>(ウ) 各県の教育者会議間の連携を図るとともに、教材等の成果物の共有を進める等のため「教育者会議全国連絡協議会（仮称）」の設置を既に設置した県民会議等と連携をとり、設立に向け検討中。</p>
---	---

	<p>(I) 北方少年交流事業</p> <p>[実施月日] 平成 16 年 7 月 29 日 (木) ~ 8 月 2 日 (月)</p> <p>[実施場所] 東京都、神奈川県</p> <p>[参加者] 元島民 3 世等 9 名 (引率 2 名含む)</p> <p>[事業内容] 小泉総理、茂木北方対策担当大臣、阿部外務副大臣に対し、北方領土問題の早期解決を訴えるとともに、河村文部科学大臣に対し、学校教育の場での北方領土教育の充実を訴えた。</p> <p>また、今回の小泉総理への表敬がきっかけになり、小泉総理の北方領土視察が実現した。</p> <p>なお、事業終了後、一行は神奈川県で開催した第 18 回北方領土返還要求運動関東甲信越青少年交流会に参加した。</p> <p>(オ) ブロック青少年育成事業</p> <p>【北海道・東北ブロック】(主管・宮城県民会議)</p> <p>[事業名] '04 北方領土青少年交流の集い</p> <p>[開催月日] 平成 16 年 8 月 5 日 (木) ~ 6 日 (金)</p> <p>[開催場所] ホテル松島大観荘 (宮城郡松島町)</p> <p>[参加者] 70 名</p> <p>[事業内容] ・ビデオによる北方領土学習  ・北方領土学習会 (根室市立歯舞中学校教諭)</p> <p>【関東・甲信越ブロック】(主管・神奈川県民会議)</p> <p>[事業名] 第 18 回北方領土返還要求運動関東甲信越青少年交流会</p> <p>[開催月日] 平成 16 年 8 月 1 日 (日) ~ 2 日 (月)</p>
--	--

	<p>[開催場所] 湘南国際村センター（三浦郡葉山町）</p> <p>[参加者] 100名</p> <p>[事業内容] ・ビデオ上映  ・グループ討論  ・全体報告、発表</p> <p>【東海・北陸ブロック】(主管・岐阜県民会議)</p> <p>[事業名] 平成16年度北方領土問題を考える東海・北陸ブロック  中学生のつどい</p> <p>[開催月日] 平成16年8月5日(木)～6日(金)</p> <p>[開催場所] 岐阜市少年自然の家(岐阜市)</p> <p>[参加者] 90名</p> <p>[事業内容] ・北方領土模擬授業  ・元島民の講話  ・班別討議  ・班別討議の発表、全体討議</p> <p>【近畿ブロック】(主管・奈良県民会議)</p> <p>[事業名] 第18回少年少女北方領土研修</p> <p>[開催月日] 平成16年8月19日(木)～20日(金)</p> <p>[開催場所] 国立曽爾少年自然の家(宇陀郡曽爾村)</p> <p>[参加者] 123名</p> <p>[事業内容] ・北方領土問題に関する講演  ・元島民による講演  ・ビデオ上映  ・北方領土クイズ</p>
--	---

	<p>【中国・四国ブロック】(主管・鳥取県民会議)  [開催月日] 下半期開催予定</p> <p>【九州・沖縄ブロック】(主管・熊本県民会議)  [事業名] 九州・沖縄ブロック大会(北方領土問題地域青少年研修会)  [開催月日] 平成16年8月1日(日)  [開催場所] 九州東海大学  [参加者] 300名  [事業内容] 熊本県教育者会議メンバーによる北方領土研修</p> <p>(カ) 北方領土問題教育指導者地域研修会  〔第10回北方領土教育指導者近畿ブロック研修会〕  [開催月日] 8月19日(木)～20日(金)  [開催場所] 国立曽爾少年自然の家(宇陀郡曽爾村)  [事業内容] 北方問題教育指導者現地研修会(根室市)参加報告  学校教育現場における北方領土教育について  今後の北方領土教育について  北方領土問題教育者会議の設立について</p> <p>〔平成16年度九州・沖縄ブロック北方領土問題教育指導者研修会〕  [開催月日] 8月19日(木)～20日(金)  [開催場所] ホテルくれべ大分(大分市)  [事業内容] 各県教育現場での取り組み状況  質疑・意見交換  講演 「北方領土返還運動について」</p>
--	--

インターネット等を活用した情報の提供

- (ア) 協会ホームページを通じて、北方領土問題についての国民世論の啓発を図るため、協会ホームページのコンテンツを速やかに最新のデータに更新するとともに、関係団体等が開設しているホームページへのリンクを充実させる。

- (イ) 関係団体等が作成している啓発資料等のリスト化を図り、北方領土問題に関心を持つ学生、教育指導者、その他の国民が関連資料・データの所在情報を容易に得られるよう整備する。

北方四島との交流事業の実施

- (ア) 元島民、返還運動関係者等の北方四島への訪問  
北方四島訪問のため各種団体の推薦者からなる訪問団（青少年訪問を含む）を組織し、目的に応じた効果的な訪問事業を年間8回実施・支援する。  
その際、アンケート調査を実施し、80%以上の参加者から有意義だったとの結果を得る。

インターネット等を活用した情報の提供

- (ア) 協会ホームページのコンテンツを最新のデータに更新及び関係団体等が開設しているホームページへのリンクを推進するため、協会内にプロジェクトチームをつくり充実に努めている。

- (イ) 関係団体等が作成している啓発資料等のリスト化を図り、北方領土問題に関心を持つ学生、教育指導者、その他の国民が関連資料・データの所在情報を容易に得られるよう整備するため検討中。

北方四島との交流事業の実施

- (ア) 元島民、返還運動関係者等の北方四島への訪問  
〔北対協主催〕  
【第1回】(県民会議返還運動関係者主体)  
[訪問月日] 平成16年6月10日(木)～14日(月)  
[訪問場所] 色丹島、択捉島  
[訪問人数] 63名  
[内 容] 事前研修、対話集会、スポーツの祭典(運動会)、ホームビジット、幼稚園・中学校、墓参等島内視察  
[アンケート結果]  
・有意義だった 100%  
  
【第2回】(返還運動後継者主体/道推進委員会とジョイント事業)  
[訪問月日] 平成16年7月23日(金)～26日(月)

	<p>[訪問場所] 色丹島</p> <p>[訪問人数] 37名</p> <p>[内 容] 事前研修、対話集会、ホームビジット、文化交流会、墓参等島内視察</p> <p>[アンケート結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義だった 97%</li> <li>・無回答 3% (1名)</li> </ul> <p>【第3回】(北連協主体)</p> <p>[訪問月日] 平成16年8月26日(木)～30日(月)</p> <p>[訪問場所] 国後島、択捉島(27日は荒天のため上陸できず)</p> <p>[訪問人数] 64名</p> <p>[内 容] 事前研修、対話集会、運動会、ホームビジット、墓参等島内視察</p> <p>[アンケート結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義だった 100%</li> </ul> <p>〔北海道推進委員会〕</p> <p>【第1回】(北方領土隣接地域振興対策根室管内市・町連絡協議会主体/台風のため訪問中止)</p> <p>[訪問月日] 平成16年5月21日(金)～24日(月)</p> <p>[訪問場所] 色丹島</p> <p>[訪問人数] 62名</p> <p>[内 容] 事前研修のみ開催</p>
--	---

【第2回】(返還運動後継者主体 / 北対協とジョイント事業)

[訪問月日] 平成 16 年 7 月 23 日(金) ~ 26 日(月)

[訪問場所] 国後島

[訪問人数] 40 名

[内 容] 事前研修、歴史学習会、相互理解促進セミナー、スポーツ交流、ホームビジット、墓参等島内視察

[アンケート結果]

- ・有意義だった 87%
- ・どちらとも言えない 4% (1 名)
- ・未回収 9% (2 名)

【第3回】(ファミリー)

[訪問月日] 平成 16 年 8 月 13 日(金) ~ 16 日(月)

[訪問場所] 色丹島

[訪問人数] 57 名

[内 容] 事前研修、相互理解促進セミナー、スポーツ交流、ホームビジット、墓参等島内視察

[アンケート結果]

- ・有意義だった 98%
- ・無回答 2% (1 名)

【第4回】(千島連盟主体)

[訪問月日] 平成 16 年 9 月 22 日(水) ~ 24 日(金)

[訪問場所] 国後島

[訪問人数] 64 名

<p>(イ) 北方四島在住ロシア人の受入          北方四島在住ロシア人の受入に当たっては、受入地の態勢等を準備し、目的に応じた効果的な事業を実施する。</p>	<p>[内 容] 事前研修、相互理解促進セミナー、歴史学習会・意見交換会、ホームビジット、墓参等島内視察</p> <p>[アンケート結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義だった 90%</li> <li>・未回収 10% (4人)</li> </ul> <p>[北対協・北海道推進委員会共催]</p> <p>[訪問月日] 平成16年8月5日(木)～9日(月)</p> <p>[訪問場所] 択捉島</p> <p>[対象者] 青少年(中・高校生)</p> <p>[訪問人数] 64名</p> <p>[内 容] 事前研修、相互理解促進セミナー、スポーツ交流、ロシア語講座、ホームステイ、墓参等島内視察</p> <p>[アンケート結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義だった 91%</li> <li>・どちらとも言えない 2% (1名)</li> <li>・未回収 7% (3名)</li> </ul> <p>(イ) 北方四島在住ロシア人の受入(外務省からの受託事業)</p> <p>【第1回】</p> <p>[受入月日] 平成16年5月14日(金)～19日(水)</p> <p>[受入場所] 富山県</p> <p>[受入人数] 75名</p> <p>[内 容] 対話集会、ホームビジット、日本語講座、富山県内視察</p> <p>【第2回】(実施予定)</p>
--	---

(ウ) 専門家の派遣

専門家派遣として、教育専門家（中学校社会科教諭）の訪問を実施する。また、日本語講師を3島（色丹、国後、択捉島）へ派遣する。

その際、教育専門家訪問参加者に対しては、報告書を提出させるとともに、アンケート調査を実施し、80%以上の参加者から有意義だったとの結果を得る。

また、日本語講師派遣事業については、派遣講師に報告書を提出させるとともに報告会を開催し、その成果を今後の事業の展開に反映させる。

[受入月日] 平成16年10月7日(木)～12日(火)

[受入場所] 徳島県

[受入人数] 75名

[内 容] 対話集会、ホームビジット、日本語講座、富山県内視察

(ウ) 専門家の派遣

[日本語講師派遣]

【国後島】

[派遣月日] 平成16年8月13日(金)～9月13日(月)

[派遣人数] 4名

[授業内容] 基本的な挨拶、平仮名・カタカナの読み書き、簡単な会話、身近な語彙等

【色丹島】

[派遣月日] 平成16年6月15日(火)～7月15日(木)

[派遣人数] 4名

[授業内容] 基本的な挨拶、平仮名・カタカナの読み書き、簡単な会話、身近な語彙等

【択捉島】

[派遣月日] 平成16年7月12日(月)～8月9日(月)

[派遣人数] 4名

[受講者数] 基本的な挨拶、平仮名・カタカナの読み書き、簡単な会話、身近な語彙等

<p>(I) その他          北方四島交流事業の本年度の実施結果を持ち寄り、17年度事業の在り方等を検討するため、実施団体等による協議を行う。</p> <p>(2) 北方領土問題等に関する調査研究          研究会の開催          北方領土問題に関連する諸分野に関する研究者、実務家等を構成員とする研究会を年間6回開催する。その成果を国民世論の啓発に役立てるため、年間3回以上ホームページにおいて公表する。</p>	<p>〔教育専門家〕(北対協・北海道推進委員会共催)          [実施月日] 平成16年9月10日(金)～13日(月)          [訪問場所] 国後島          [対象者] 全国の中学校社会科担当教諭等          [訪問人員] 63名          [内 容] 事前研修、中等学校・教育機関視察、教育関係者との意見交換会、墓参等島内視察          [アンケート結果]          ・有意義だった 100%</p> <p>(I) その他          北方四島交流事業の本年度の実施結果を持ち寄り、17年度事業の在り方等を検討するため、実施団体等による協議を予定している。</p> <p>(2) 北方領土問題等に関する調査研究          研究会の開催          [第1回](会場は全て北対協会議室)          (開催月日) 5月14日(金)          (内 容) ・委員報告          「竹島問題の行方」          下條正男委員(拓殖大学教授)          「日露関係改善のための108の提言」</p>
--	--

	<p style="text-align: right;">吹浦忠正委員（東京財団研究推進担当常務理事）</p> <p style="text-align: center;">・最近の日口関係について（意見交換）</p> <p>（出席者） 研究会委員、内閣府、外務省等 17 名</p> <p>[第 2 回]</p> <p>（開催月日） 7 月 2 日（金）</p> <p>（内 容） ・報 告</p> <p style="padding-left: 40px;">「最近の日露関係」</p> <p style="padding-left: 80px;">松田邦紀外務省欧州局ロシア課長</p> <p>・委員報告</p> <p style="padding-left: 40px;">「グローバル化によって“領土主権”は時代遅れとなったか」</p> <p style="padding-left: 80px;">木村 汎委員（拓殖大学海外事情研究所教授）</p> <p style="text-align: center;">・最近の日口関係について（意見交換）</p> <p>（出席者） 研究会委員、内閣府、外務省等 18 名</p> <p>[第 3 回]</p> <p>（開催月日） 9 月 29 日（水）</p> <p>（内 容） ・委員報告</p> <p style="padding-left: 40px;">「中露国境交渉の現場から」</p> <p style="padding-left: 80px;">岩下明裕委員（北海道大学スラブ研究センター教授）</p> <p style="text-align: center;">・最近の日口関係について（意見交換）</p> <p>（出席者） 研究会委員、内閣府、外務省等 16 名</p>
--	--

国際シンポジウムの開催

外国人の研究者等を日本に招聘し、国際シンポジウムを富山県、東京都の2カ所で開催するとともに、その成果を国民世論啓発に役立てるためホームページにおいて公表する

〔研究会委員名簿〕

	氏 名	現 職 等
座 長	木 村 汎	拓殖大学海外事情研究所教授
委 員	岩 下 明 裕	北海道大学スラブ研究センター教授
〃	佐 瀬 昌 盛	拓殖大学海外事情研究所所長
〃	下 條 正 男	拓殖大学教授
〃	都 甲 岳 洋	元駐口大使
〃	袴 田 茂 樹	青山学院大学教授
〃	兵 藤 長 雄	東京経済大学教授
〃	吹 浦 忠 正	東京財団研究推進常務理事

国際シンポジウムの開催（実施予定）

〔富山会議〕

〔開催月日〕 平成 16 年 10 月 30 日（土）

〔開催場所〕 富山第一ホテル

〔テ ー マ〕 プーチン 2 期目の対日政策～中国ファクターを中心に

〔出 席 者〕 パネリスト

（外国側） ドミトリー・トレーニン博士

（露：カーネギー・モスクワセンター副所長）

ガイヤ・クリストファーセン準教授（米：海軍大学院）

ピーター・バートン名誉教授

（米：南カリフォルニア大学）

（日本側） 岩下明裕教授（北海道大学スラブ研究センター）

袴田茂樹教授（青山学院大学教授）

木村 汎教授（拓殖大学海外事情研究所）

<p>(3) 元島民等に対する必要な援護等に関する事項 元島民等の団体が行う返還要求運動等に対する支援</p> <p>(7) 2月北方領土返還運動強調月間の一環として、札幌の雪祭り会場等で元島民等により構成される団体が行う署名活動に対する支援を行う。</p> <p>県民会議等により全国で収集された署名簿の集計・管理業務に関し、同団体に対し支援を行う。</p> <p>(1) 元島民等が全国の北方領土返還要求運動に果たす役割の重要性について、より理解を深めるとともに、元島民等の相互の連帯を一層強化するため「北方地域元居住者研修・交流会」を開催する。</p>	<p>(コーディネーター) 吹浦忠正氏(東京財団研究推進担当常務理事)</p> <p>[東京会議] [開催月日] 平成16年11月2日 [開催場所] ホテルルポール麹町 [出席者] 内外のロシア専門家等約20名</p> <p>(3) 元島民等に対する必要な援護等に関する事項 元島民等の団体が行う返還要求運動等に対する支援</p> <p>(7) 2月北方領土返還運動強調月間の一環として、札幌の雪祭り会場等で元島民等により構成される団体が行う署名活動に対する支援を行う。</p> <p>県民会議等により全国で収集された署名簿の集計・管理業務に関し、同団体に対し支援を実施した。</p> <p>[上半期署名収集状況] 307,731名 [総計] 76,727,754名</p> <p>(1) 「北方地域元居住者研修・交流会」を開催 [第1回] [開催月日] 平成16年7月27日 [開催場所] 北方四島交流センター [出席者] 35名 [内容] 講演 「返還運動における元島民の役割」 河田弘登志氏(歯舞群島多楽島出身) ビデオ上映 「われらの四島の思い出～国後島編～」</p>
---	--

<p>(ウ) 元島民等により構成される団体に委託して、戦前における北方四島の生活実態、引揚げの状況等に関する資料・証言を取りまとめた青少年向けの『若い世代に伝えたい - 思い出のわが故</p>	<p>〔第2回〕  [開催月日] 平成16年8月1日  [開催場所] 千島会館  [出席者] 31名  [内 容] 講 演 「返還運動における元島民の役割」  岩田宏一氏（択捉島出身）  ビデオ上映 「われらの四島の思い出～択捉島編～」</p> <p>〔第3回〕  [開催月日] 平成16年8月24日  [開催場所] 北方四島交流センター  [出席者] 26名  [内 容] 講 演 「返還運動における元島民の役割」  池田英造氏（国後島身）  ビデオ上映 「われらの四島の思い出～国後島編～」</p> <p>〔第4回〕  [開催月日] 平成16年8月29日  [開催場所] 北方四島交流センター  [出席者] 41名  [内 容] 講 演 「返還運動における元島民の役割」  若松富子氏（歯舞群島志発島出身）  ビデオ上映 「われらの四島の思い出～歯舞群島編～」</p> <p>(ウ) 元島民等により構成される団体に委託して、戦前における北方四島の生活実態、引揚げの状況等に関する資料・証言を取りまとめた青少年向けの資料を刊行するための資料収集を行うとともに</p>
--	--

郷 - 北方領土』(生活・行政編)を刊行する。

元島民等による自由訪問

元島民等による自由訪問を元島民等により構成された団体に委託し年間4回実施するとともに、訪問する元島民等に対し事前研修を行う。

その際、実施した事業の実績を整理した報告書を提出させる。

に、その構成について検討を行っている。

[資料名] 『若い世代に伝えたい - 思い出のわが故郷 - 北方領土』  
(生活・行政編)

[発行部数] 4,200部

[配布先] 道内市町村教育委員会、道内国・公・私立中学校、関係機関・団体等

元島民等による自由訪問

本年度の自由訪問を4回計画したが、第3回訪問が台風の影響により中止となった。なお、本年度から訪問団員に対する事前研修会を実施した。

〔第1回〕

[実施月日] 平成16年6月4日～7日

[訪問場所] 択捉島 グヤ、入里節、十五夜萌

[参加者] 44人

〔第2回〕

[実施月日] 平成16年6月29日～7月2日

[訪問場所] 国後島 ブニ、泊

[参加者] 53人

〔第3回〕(台風の影響により中止)

[実施月日] 平成16年8月20日～23日

[訪問場所] 歯舞群島多楽島 ヒラリウス

” 志発島 西浦泊

[参加者] 51人

北方地域旧漁業権者等に対する貸付業務の円滑な実施

(7) 融資説明・相談会の充実強化

融資内容、生前承継制度等の周知を図る融資説明・相談会を対象者が多く居住する以下の地区で開催する。

【開催場所】

根室市（2回）、浜中町、網走市、函館市、羅臼町、釧路市、帯広市、黒部市、旭川市

(1) 関係金融機関との連携強化

融資業務の拡充と一層の円滑化を図るため以下の会議を開催し、関係金融機関の担当窓口との連絡調整を緊密にし、制度利用の促進を図る。

漁業協同組合担当者会議（4月 札幌）

〔第4回〕

〔実施月日〕 平成16年9月3日～6日

〔訪問場所〕 色丹島 稲茂尻  
歯舞群島勇留島 トコマ

〔参加者〕 44人

北方地域旧漁業権者等に対する貸付業務の円滑な実施

(7) 融資説明・相談会の充実強化

【開催場所】（上半期開催実績）

札幌市、根室市、函館市、羅臼町、釧路市、帯広市、黒部市、旭川市

【下半期開催予定】

根室市、浜中町、網走市

(1) 関係金融機関との連携強化

融資業務の拡充と一層の円滑化を図るため関係金融機関の担当窓口との連絡調整を緊密にし、制度利用の促進させるため以下の会議を開催した。

〔漁業協同組合担当者会議〕

〔開催月日〕 平成16年4月23日（金）

〔開催場所〕 札幌ガーデンパレス（札幌市）

〔出席者〕 根室管内8漁業協同組合（転貸組合）等20名

〔協議事項〕 ・業務方法書の一部改正について  
・平成16事業年度資金需要等について

関係機関実務担当者会議（4月 札幌）

(ウ) 生前承継の促進

生前承継制度について周知徹底を図るため、協会の広報紙「札幌だより」や元島民等により構成される団体の会議、ホームページ等を活用し、本制度の利用を促す。

(I) 適切な融資業務の運営

元島民等の援護措置という貸付事業の趣旨を踏まえつつ、貸付、債権管理を適切に行う。

〔関係機関実務担当者会議〕

〔開催月日〕 平成16年4月23日（金）

〔開催場所〕 札幌ガーデンパレス（札幌市）

〔出席者〕 転貸組合、委託金融機関、関係市町村（根室市、黒部市等）  
内閣府、北海道、千島連盟等 43名

〔協議事項〕 ・平成15事業年度貸付業務経過報告  
・平成16事業年度貸付計画等について  
・業務方法書の一部改正について  
・生前資格継承の状況について

(ウ) 生前承継の促進

〔平成16年度上半期実績〕 85人

〔平成15年度実績〕 118人

〔平成8年度から現在〕 913人

(I) 適切な融資業務の運営

〔貸付業務の状況〕（9月末現在）

〔貸付決定額〕 8億円（221人）

〔初期延滞対策〕 電話督促 326件

〔長期延滞対策〕 電話督促 272件

文書督促 162件

実態調査 36件

法的手段 5件（調停）

<p>3. 予算（人件費の見積もりを含む。）収支計画及び資金計画</p> <p>4. 短期借入金の限度額</p> <p>【一般業務勘定】 運営費交付金の出入に時間差が生じた場合、不測な事態が生じた場合等に充てるため、短期借入金を借り入れできることとし、その限度額を5千万円とする。</p> <p>【貸付業務勘定】 貸付に必要な資金に充てるため、短期借入金を借り入れできることとし、その限度額を14億円とする。</p> <p>5. 重要な財産の処分等に関する計画 低利な資金調達を可能にするため、長期借入金の借入先金融機関に対し、基金資産10億円を担保に供するものとする。</p> <p>6. 剰余金の使途 剰余金は、根室地域における啓発施設「北方館」「別海北方展望塔」「羅臼国後展望塔」の充実、又はホームページの拡充に係る経費に充てるものとする。</p>	<p>3. 予算（人件費の見積もりを含む。）収支計画及び資金計画 略</p> <p>4. 短期借入金の限度額</p> <p>【一般業務勘定】 該当なし</p> <p>【貸付業務勘定】 4億6千万円</p> <p>5. 重要な財産の処分等に関する計画 低利な資金調達を可能にするため、長期借入金の借入先金融機関に対し、基金資産10億円を担保に供した。 〔基金10億円の担保状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北洋銀行 200,000 千円</li> <li>・北海道信用漁業協同組合連合会 100,000 千円</li> <li>・農林中央金庫 700,000 千円</li> </ul> <p>6. 剰余金の使途 該当なし</p>
---	---

<p>7. その他主務省令で定める業務運営に関する事項</p> <p>(1) 施設及び設備に関する計画 該当なし</p> <p>(2) 人事に関する計画 事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。</p> <p>協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勘定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>7. その他主務省令で定める業務運営に関する事項</p> <p>(1) 施設及び設備に関する計画 該当なし</p> <p>(2) 人事に関する計画 事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するため仕組みを検討中。</p> <p>協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勘定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正な人員配置を検討中。</p>
--	--